第23回 能美市タウンミーティング（北陸先端科学技術大学院大学・留学生）

平成30年3月19日（月）19:30～

北陸先端科学技術大学院大学

【司会】

ただいまから北陸先端科学技術大学院大学（JAIST）留学生とのタウンミーティングを始めさせていただきます。

まず初めに、井出市長がご挨拶を申し上げます。

【井出市長】

今年度タウンミーティングを開催してきましたが、今年度最後のタウンミーティングとなりました。

最後を留学生の皆さんとやらせていただくというのは、大変光栄に、そしてうれしく思っています。

能美市は今、人口がふえています。そして、外国人の方々もふえています。石川県には19の市町があって、能美市は住んでいる外国人の数が金沢、小松市に次いで第3位です。人口一人当たりの外国人の数は石川県内でナンバーワンです。それで、外国人の皆様にも、この能美市で快適に暮らしていただけるように、いろんな取り組みを始めています。

例えば、市役所にいろんな手続でお越しになったときに、言葉が通じないと困るので英語を話すことのできる職員を配置しています。それと、英語以外の言葉を話す方もたくさんいます。その方々にも対応できるように、タブレットを使って同時通訳できるようにしています。それから、地域の皆様方と溶け込んでいただけるように、この周辺の住民とのふれあいの場をいろいろと企画もしています。

きょうは、皆様方が卒業してもずっと能美市で暮らしていただけるように、そして、能美市の企業に就職をしていただけるように、そのようなことを促進できるような意見交換をさせていただければと思っています。

【司会】

きょうは、留学生の皆さんが能美市で学び、市内で生活を送る中で見て、感じていることをお聞きして、まちづくりや行政サービスの充実に生かしていきたいと思います。

それでは、意見などをお聞きしていきたいと思います。

【留学生(カンボジア出身)】

私はカンボジアの出身で、最初に能美市に来たときには、言語の問題があるので書類を記入するのが大変でした。

また、ホームステイや活動に参加しており、そのような場を提供してもらえるので感謝しています。

能美市での生活では、研究室と寮の行き来しかないので、あんまり問題は起きないのですが、例えば能美市から送られてきた書類は全部日本語ですので、アプリを使ってはいませんが、そこが一番大変です。

【留学生(インド出身)】

こういったミーティングを開いてくれて感謝しています。ただ一つだけ問題があります。それは「のみバス」の便数があまりにも少なすぎて市役所に行ったり、遊びに行ったりするのに、アクセスがあまりにも少ないです。そのバスの本数を一、二本ふやしてくれるだけでもかなり助かると思います。

【井出市長】

多くの市民から「のみバス」のダイヤやルートを見直してほしいという要望をいただいています。来年度、1年間をかけて、いろいろ調査をして、多くの皆さんに利用していただけるような「のみバス」に変更をしていく計画です。

【留学生(ナイジェリア出身)】

一番言いたいことは、こういう快適な環境を与えてくれている能美市、そしてJAISTに非常に心から感謝しているということです。日本、石川県の人たちが本当に素晴らしい形で自分たちが住める環境をつくってくれているということに関して、本国に帰っても自分の知っている人たちにこういう素晴らしいところだということを伝えたいと思います。

自分が困っていることについて、まず言語の問題です。最初に市役所に行ったときは、日本人の友達と一緒に連れていっていろいろと面倒を見てもらいました。2回目からは市長がおっしゃったように、英語が話せる人がいたために自分で行けるようになりました。それ自体は非常にいいことだと思います。ただ、市役所から来る文書の中に、まだ日本語で書かれているものがあって、自分には理解しにくかったです。もう一つは、能美市からJAISTに来ている通知の中に日本語のみのものがあります。例えば、何かのイベントで何日までに申込むということがあったとしても、その内容を把握できないために締め切

りに間に合わなかったこともありました。内容がわかるような工夫をしてほしいと思いました。

ただ、能美市に何かしていただきたいということばかり考えているわけではなくて、もしも依頼があれば、自分たちは無料奉仕で能美市の発展のためにいろいろと貢献するつもりです。もし、自分たちの力が要るようならば、ちゃんと大学を通して伝えてほしいです。自分たちはそれをちゃんとしっかりとやります。それこそが、学長がいつも考えていらっしゃることです。学生たちを単に研究室に閉じ込めるのではなく、特に国際留学生に関してはいろいろな経験を通して成長してくれるようにと学長は望んでいます。

そして、終了式のときに、例えば井出市長がここに残ってここに就職して貢献してほしいと言ったとしたら、学生はそうすることを考えないでもないと思います。そのような考えを持っている人は必ずいるはずだし、とにかく自分たちも能美市のために何かをしたいと思っているということを知ってほしいです。

【井出市長】

いろんな場面で留学生の皆様を含め、先端大で学んでいらっしゃる方々に私として、そして能美市のメッセージをもっといろんな場面でお伝えをしていくように心がけていきます。

一つ、提案があります。今、能美市のホームページのリニューアルをしています。できるだけ多くの外国人の皆様方にもそのホームページを見ていただきたいと思っていまして、日本語のホームページを正確に外国語に訳してもらうことを今考えています。ぜひ、そのときには先端大の留学生の皆様方にもご協力をお願いできればと思います。

【留学生(インドネシア出身)】

能美市は美しく、私たちのようにムスリム系の人たちにも配慮してくれたり、受け入れてくれたりということに対して感謝しています。

ただ、ムスリム系では食べ物の制限がありますが、ハラルなもの（許されているもの）のショップが能美市にはないのです。交通の便も悪いので、車がない場合はインターネットでハラルの食材を取り寄せています。でも、インターネットだと高額になってしまうということがあります。なので、交通機関の便をよくして、ほかの市にあるハラルを扱っている店に行けるようにしていただく、もしくは能美市にハラルの食材を扱うようなお店をつくれませんか。

もう一つは、先ほどの学生も言っていたように、たくさん来る書類の中に、お金を払い

なさいとか、保険の話、あと税金の話といったようなお金に関するような話があって、例えばどういった税金で幾ら払わなければいけないのかということも日本語で書いてあるのでわかりづらいです。そういった保険、税金といったお金に関するものは人によって金額が異なっているので友達と見比べてもわかりません。どんな種類があるのかも少しわかりづらいです。それで、そういう支払いの書類が来ても日本語で書いてあるのでわからないで無視していたら、余分に払わなければいけないということも出てきます。もしくは、お金が返ってくるという書類が来ているのに、書類で申請をしないとお金が返ってこないこともあります。書類によって、どういうことをやらなければいけないのか、市役所に行つて尋ねたらいいかどうか少しわかりづらいです。

【井出市長】

ハラルのショップって、どこにあるのですか。

【学生(インドネシア出身)】

野々市や小松にあります。

【井出市長】

能美市がハラルショップを運営するわけにはいきませんし、民間で運営をしてもらわなければなりません。そうすると、交通の便をよくできないか考えてみます。

それから、書類に関しては、市役所でどんな書類が皆さんのところに行っているのか調べてみます。

【留学生(インドネシア出身)】

たまに広告もありますし、重要な支払いの書類もあります。大事な書類だけを大きくしてくれとかしてくれとありがたいです。

【井出市長】

市役所から皆さんのところにどんな書類が行っているのかということが私もわかっていません。我々日本人に来る書類でも、市役所から来る書類は年に2通か3通ぐらいです。

【JAIST副学長】

結局、どこから来ているのかもわからないものがたくさん来ているということです。能美市からの書類かどうかということもわからないという感じですね。いろんなところからいろんな書類が来ていますので。

結局、どの書類が重要で、どの書類が能美市から来たものかということをしつかりと認識できるようになっていたらいいということです。私は、それはJAISTとしての仕事

であって、能美市にお願いすることではないと思います。私たちがちゃんと分類をすればいいことです。

【JAIST総括理事】

まだお約束はできないけれども、これから大学院の中に1カ所でワンストップの相談窓口みたいなのができればいいですね。

彼らの生活に対してくる書類がなかなか簡単に全部英語に変わるはずもないと思います。これはどこに行けばいいか、どうすればいいかということを相談にのることができる窓口が必要です。これだけ留学生がいるのにJAISTにそういう部門がないというのは不都合なことだと思います。

能美市の行政手続きに関しても、入学時の導入教育のときに、市役所から説明に来たり、英語を話せる職員を配置したりといったように大分改善されています。能美市側の対応は、差し当たりはそこからスタートしていただいているので十分だと思います。

【留学生】

ただ、能美市から配られる書類に関して、どういった書類がいつごろ届くのでこういった書類は大事ですよといったワークショップをすることはできますか。

【JAIST総括理事】

導入教育ですればいいと思います。JAISTに来た学生に対して大学で場所と機会をつくって、能美市の職員に来てもらって、話してもらえばいいと思います。

【JAIST副学長】

留学生に対して、能美市の方に来ていただいてこういう書類がこれから来ますよ、どういったことに注意してくださいということを教示していただければ、留学生たちが戸惑うこともないと思います。

本学は1週間のオリエンテーションがあります。その時に、何かそういった説明をするような形にさせていただければと思います。

【井出市長】

まず、オリエンテーションのときにうちの職員がこちらにお邪魔をして説明することはできます。

また、留学生の方を能美市に受け入れるためにはいろんな手続があつて、それをやるためには市役所に来ていただかないとできないことが多いです。スムーズに手続をしてもらえるように、留学生の方は別の部屋に入っていただいて、市の職員がワンストップででき

るように今は対応しています。

【留学生(カナダ出身)】

能美市に来る前にWebサイトを見ました。それが改善されるというのは非常に嬉しいと思います。ただ、J A I S Tにたくさんの留学生が来ているということであれば、J A I S Tの留学生向けにクリックできる場所があってもいいと思います。そうではなくて、留学生に限らず外国人の方に向けての情報があるのだとすれば、そこをクリックすることによって、彼らが必要としている情報が入るようになるといいのではないかと思います。

私が一番困っているのは、例えば「在留届」や「国民健康保険」など重要な種類がいろいろありますが、結局、ここに来たときにどれが一番重要でどれが重要でないのかわかりません。頂く書類の中でも重要度が違う書類があるはずなので、できればチェックリストか何かをつくって、必ずしなければならないものを外国人が検索することができればいいと思います。もしそれがオリエンテーションのときに、言葉で言われたとしても忘れるかもしれません。Webサイトに情報として載っていれば、そのチェックリストを見て自分がしっかりとそういったものを満たしているかを見ることができるので便利だと思います。

【井出市長】

今は、そういうチェックリストをつくるということよりも、市役所に直接来ていただければワンストップでできるというサービスをより高めていこうと考えています。

多分、市役所でできることと市役所以外でできることがあるということをご理解いただきたいと思います。その辺は先端大の事務局の方と連携をとりながら、我々市役所としてやれることはしっかりやっていきます。

【留学生(カナダ出身)】

Webサイトを改善するという点に関して、私は情報科学の人間ですけれども、そういったことに長けている人間がJ A I S Tにはたくさんいます。結局、一生懸命自分たちが動くことで状況が改善されるということであれば、自分たちに声をかけてくれれば、そういったチームをつくるということも可能です。

ただ、やっぱり書類に関して、能美市の管轄ではない書類もいろいろ混ざりこんできていて、学生たちはすごく混乱しています。サイトを改善するときに載せる情報の一環として、能美市の書類、能美市ではない書類といったこともしっかりと載せることができたら、それを使う人たちにとってもっと情報として正しいものが入るのではないかと思います。

【井出市長】

能美市が発行した書類でないものを能美市で対応することは大変難しいです。やっぱり、さっき J A I S T 総括理事が言われたように、J A I S T さんの事務局と我々が連携して皆さんに快適に暮らしていただけるように工夫をしていきます。

【留学生(マレーシア出身)】

家族の保険に入るための書類を準備するため、市役所へ行けるようなタイミングの交通手段がありません。

週1回とかあるいは2週間に1回でもいいのですが、留学生で市役所に行く必要がある人を適当な時間に連れて行って、終わったら連れて帰ってくるというようなことはできないでしょうか。

【J A I S T 総括理事】

実は、少し前に小松に行くバスを辰口でとめるということ、2年も3年も言い続けてやっと実現しました。しかしあまりにも利用者が少なく結局止めざるを得なくなりました。

ただ、今のリクエストは、もう一度、特に新入生が来たタイミングで週1回とか週2回とか、それは割と早い時期に能美市役所と我々とで何かできることはないかということ、少し考えていきたいと思います。

【留学生(ベトナム出身)】

まず、書類で大事なものは英語と日本語で書いてほしいです。

あとは、能美市にある遊び場所に、動物園などに行けるようなバスシステムがあると、もっと行くようになるし、観光場所といったところも栄えるのではないのでしょうか。

【井出市長】

「のみバス」のことは、どれだけの方々に利用していただけるのか、利用していただくためにはどんなダイヤ、ルートがいいのかということ、1年間かけて調べていきます。

【学生】

自分も能美市民なので、自分たちで本当に能美市のためにできることがあったら、ちゃんとそういったことに対応する気持ちでいます。

【井出市長】

ありがとうございます。

【J A I S T 副学長】

これは、学生たちみんな、そういうふうを考えていると思います。

【留学生(カナダ出身)】

この大学で、例えば通訳ができる学生もいるはずなので、使える人をどんどん使って、もっとすっきりした形にするというのではないかと思います。

【井出市長】

それはホームページということですね。多分、J A I S Tの学生がいろんな情報を入手するところとして、J A I S Tのホームページのほうがより詳しく、それから、聞きたいことがちゃんと載せられるのではないかと思います。我々のホームページというのは外国人を対象にしますので観光や生活、企業のことを、日本語でしか表示をしていないところを外国語に変えていくということです。あらゆる目的、あらゆることを調べたい外国人に対してホームページを変えていこうということです。ですから、皆さんがもっと知りたいこと、困っているということはトピックスとしてJ A I S Tのホームページをリニューアルしていってもらおうということで一番皆さんが欲しい情報が取れるのではないかと思います。

【J A I S T副学長】

結局大学自体が学生たちのまとまった声を聞けるというシステムがあればいいのではないかと思います。そのために、学生の自治組織みたいなものをつくるのがいいのではないかと思います。声もありました。

とにかく、きょうわかったのは、いろんなことが混乱していて、何かわからない書類がきていたら、きっと能美市からだろうという、あつてはいけないような誤解があったということです。でも、これについて、学生たちは理解したと思います。それから、J A I S T総括理事がおっしゃったように、大学の中にワンストップでアドバイスができるところをつくれば、そういったような誤解も減っていくだろうと思います。これは本当にJ A I S Tと能美市の協力でこういった誤解や混乱というものがなくなっていくと思います。

【留学生(インドネシア出身)】

最初に、こんな遅い時間帯に市長にわざわざここまで来ていただいて、みんなの声を聞いていただいてありがとうございます。

金沢や小松の観光案内の情報はありますが、能美市に関してはそういった情報が手に入ってきません。ですから、そこに行く方法が書いてあるパンフレットのようなもの、観光案内みたいなものがあれば、もっとJ A I S Tの学生たちもそういったところにどんどん出かけていくようになると思います。

また、みんなが言っているように、自分たちでできることがあったら何でもする気でいます。自分たちがやることで能美市に住んでいるほかの外国人、住民の人たちがいい生活ができるようになるならば、自分たちとしても頑張ります。

【井出市長】

観光のパフレットが皆さんに行っていないというのは宣伝不足ですね。これはすぐにも手を打たないといけないなと思いました。

【留学生(インドネシア出身)】

市民たちとの交流がもっと頻繁に行われれば、その中で日本の習慣とか言語といったものを身につけることができるので、そういったことにご尽力をいただければと思います。

【井出市長】

わかりました。

【JAIST副学長】

とてもボランティア精神の強い学生たちです。私より多く知っている学生たちばかりで、何かをしたいと思っていますので、また市長のご判断でお声がけをお願いします。

【井出市長】

きょうは皆さんが能美市のこと、そしてJAISTのことをとても大切に思ってくれているということがよくわかりました。

皆さんがずっとこの能美市に住んでいたい、そして、皆さんの友達に能美市、そしてJAISTはとってもよいところだということを自慢していただけるように、今後もJAISTと連携をとっていきたいと思います。

次回、皆さんとお会いできるのを楽しみにしてきょうを終わらせていただきます。ありがとうございました。